

町長メッセージ 「町民の皆様へ」

～安心・安全のまちづくりを目指して～



湯浅町長
上山 章善

先月16日、湯浅町制施行120周年記念と第40回の節目の大会であることから、いつもより1,000発増やして盛大に湯浅まつり花火大会を開催しました。夏の夜空に打ち上げられるたくさんの花火が、重なり合うように花開く光景は、実に見事なものでした。

当日は、会場近くに位置する伝建地区の北町通りを行灯でライトアップしたこともあって大勢の方々が大変賑わいました。

また、町制施行120周年への協賛として花火大会にあわせて商工会さんがロゴマークの入った団扇を作成してくれたことや駅前商店街さん、西大宮通商店街さんたちが、ビアガーデン等を開催してくれたことなど、たくさんの方々が町を元気にする取組みを進めてくれていました。本当にありがとうございます。

花火大会の翌週、はじめて実施したサマーフェスタで、昔なつかしの無声映画上映会を開催しましたところ、来場者の方々から「子どもの頃を思い出した」「もう一度観ることができると思わなかった」

などの感想をいただき好評でした。そのほかにも子どもが喜ぶキャラクターショーやマスコットショー、お笑いライブなども行い、子どもから大人まで笑顔で溢れており、見ている私も温かい気持ちになりました。これからも、住民の皆さまが笑顔でいられるようなイベントをたくさん企画してまいります。

さて、話は変わりますが、賑わいに満ちたまちづくりを進めるため、「湯浅町成長戦略特別参与」という制度を設け、先月29日に委嘱状交付式を行いました。今回委嘱を受けていただいたのは、町内で事業を営む4名ですが、必要に応じて増やしていきたいと思っています。彼らは、まちづくりへの熱い思いを持っており、観光振興や町の魅力の発信、ふるさと納税の推進などまちの賑わい創出を進めていくうえで、適任であると判断しました。今後、彼らは、無報酬で湯浅のPR活動などを行っていただきますこととなります。このように、本町で暮らす方々が、自らの意思で、わがまちのために力を尽くしてくれることが大変うれしく思います。

最後に、これから夏本番を迎えますが、元気に笑顔で過ごしましょう。

※特別参与については、9月号で紹介いたします。

子どもの人権・子育て講演会が行われました!

講師：幼児教育研究家 熊丸みつ子氏

7月19日(火) 役場なぎホールにおいて、幼児教育研究家、熊丸みつ子さんを講師に迎え、講演会「今を生きる子どもたちに伝えたい～親としておとなとして地域として～」が開催されました!

来場された方は、先生のマシンガントークから放たれる数々の愛情あふれる言葉に、笑い、うなずき、時には涙を流す方もいらっしゃいました。

先生の講演を、ほんの一部ですがご紹介いたします。

「子どものわずらわしさは、信頼関係の証。」「子どもたちは、してはいけないことをして、叱られて、生きる土台を作っていく」「子どものチョロチョロ。親のガミガミ。順調よ!」「子どもたちは抱かれる量が決まっている。抱き癖はつきませんから抱いてあげて。」「子どもが求めているのは、親の笑顔です」などなど親だけでは子育てできない時代。地域みんなで子どもたちに関わることの大切さを教えていただいた講演会でした。



湯浅町制施行120周年記念特集 記念式典特別講演 『地域づくりは楽しい』



講師：鹿児島県長島町副町長 井上貴至氏

6月18日(土)に開催した町制施行120周年記念式典における特別講演を120周年記念特集としてお送りします。

講演レポート①「総務省職員から長島町副町長に」

私は、総務省から愛知県に派遣され、東京に戻った後は平成の伊能忠敬になるぞ、ということで、全国を訪ね歩きました。地域で活動する方はその現場、ホームグラウンドで輝くというのが私の信念。そこで気づきます。私が、地域で活躍する方や事例をつなぐことにより、新しい花が咲き誇るのではないかと。そこで、地方創生という大きな国の政策により長島町副町長として平成27年4月から2年間派遣されることになりました。

長島町では地方創生担当の副町長として現場に出て、農家や漁師さんたちと話します。役場では話してくれない方でも、現場ではいろいろな話をしてくれる。そこがヒントです。色々な思いや困り事があって、それをどう解決していくか、それが大事です。

長島町はぶりの養殖が盛んです。

そのぶりを活かし、井上副町長が実践する地域づくりとは? 次号へ続きます。

